2020 年 7 月 6 日

国土交通省「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の
導入・活用に関するプロジェクト」に選ばれました。

株式会社　浅沼組

当社にて開発中の“Ai-MAP SYSTEM(アイマップシステム)”のうち、データプラットフォームシステム(Ai-PLATS)が、国土交通省が進める「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」の 2020 年度公募において採択されましたのでお知らせいたします。

この“Ai-MAP SYSTEM（アイマップシステム）”関連の新技術は、2018 年度より 3 年連続の採択となります。今後、下記現場での試行をはじめとして様々な現場での検証を重ね、建設現場における生産性の向上を推進させていきたいと考えています。

・公募対象技術

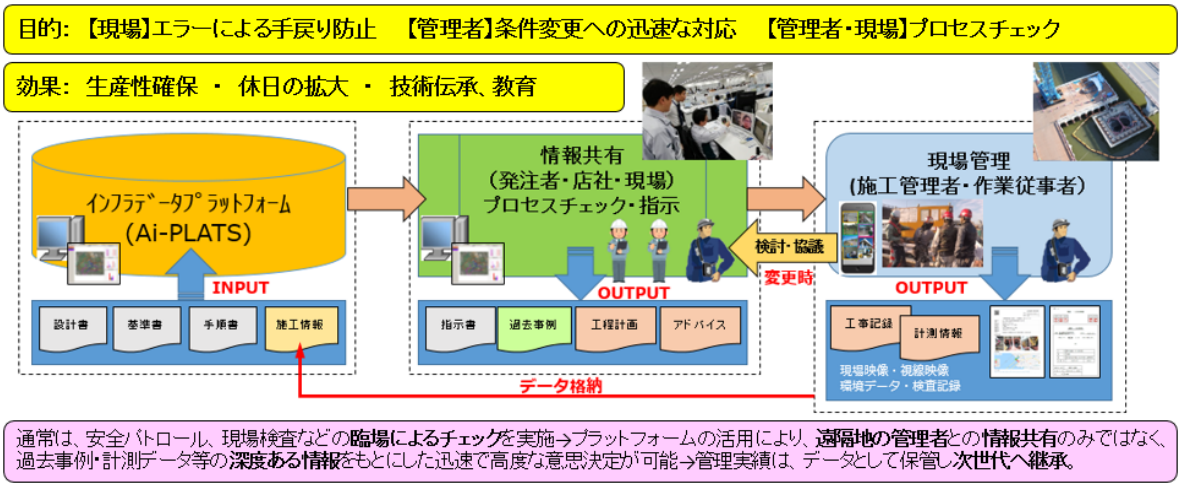
技術Ⅰ：第 5 世代移動通信システム等を活用して
土木又は建築工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

・コンソーシアム構成（アイマップイノベーションコンソーシアム 2020）

株式会社浅沼組、関東建設マネジメント株式会社、国立大学法人北海道大学、
国立大学法人名古屋大学、株式会社ロゼッタ、株式会社ミオシステム

・試行工事現場名

R1 国道 51 号神宮橋架替鹿嶋側橋梁下部工事
（発注者：国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所）

・今回採択されたシステム Ai-PLATS の特徴

① 施工実績やマニュアルなどの形式知のデジタル化と活用により生産管理を効率化。
② 端末機によるコミュニケーション機能の活用で、迅速な意思決定を補助。
③ 蓄積したデータを AI（人工知能）解析し、技能伝承や業務効率 UP に活用。